

官民協働海外留学支援制度 拠点形成支援事業
活動実績報告資料

**<ふじのくにグローバル人材育成事業>
令和7年度活動報告**



事業概要①

静岡県では、グローバル人材の育成を社会総がかりで支援することを目的として、2016年4月に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、高校生の語学研修、海外インターンシップ、高等学校によるグローバル・リーダー育成に関する研究等を支援する「グローバル人材育成事業」を実施してきました。また、予測困難な時代を生き抜き、より良い社会を創造する力を育むため、生徒自らが課題を立て、他者と協働して解決の道筋を探る「探究学習」を重点的に推進しています。

今後、国内外の激しい変化の中で本県の持続的な発展のために活躍できる人材の育成に向け、本県の産学官が連携して探究を伴う留学を支援し、日ごろの探究学習を通じて生徒達が身に付けている本県の特性・特徴への理解、より良い社会を創造する力等に磨きをかけつつ、国際社会の中で地域の方角を考える視点等を育みます。また、留学をした生徒の貴重な経験を積極的に発信し、留学機運の醸成及び次なる留學生の拡大に繋げていきます。

地域協議会基礎データ

【地域協議会代表者】

静岡県教育委員会教育長 池上 重弘

【運営事務局】

静岡県教育委員会教育政策課

【運営事務局の役割】

- (1)事業全体の進行管理、調整
- (2)運営協議会構成員との連絡調整・支援要請
- (3)当該プログラムの広報・申請の受付
- (4)寄付金の募集総括・受入れ
- (5)事業費の拠出等の経理事務
- (6)留学生への奨学金等支給
- (7)日本学生支援機構への事業実施報告 等

【地域協議会の構成員及び役割】

【協議会名】

「ふじのくにグローバル人材育成事業」運営協議会

【構成員】

代表	静岡県教育委員会（教育長）
産	（一社）静岡県経営者協会 （公社）静岡県国際経済振興会
学	静岡県高等学校長協会、静岡県私学協会 （公社）ふじのくに地域・大学コンソーシアム
官	静岡市教育委員会、浜松市教育委員会
その他	（公財）はごろも教育研究奨励会（公財）日本教育公務員弘済会静岡支部（公財）静岡県国際交流協会

【運営協議会役割】

- (1) 事業計画、プログラムの企画策定及び実施
- (2) 関係機関等との連絡調整、留学機運の醸成に向けた広報支援
- (3) 派遣留學生の審査選考
- (4) 本事業への寄附について、協力企業の新規開拓
（会員企業・団体等への積極的な働きかけ）

■プログラム全体の概要

海外での探究活動により知性・感性を磨きながら「国際社会の中で地域の方向性を考える視座」、「課題解決に向けて国際社会にも出て行くチャレンジ精神」、「海外での生活やコミュニケーションの実体験を通じた自信やスキル」等の素養を育むことを通じて、日本代表プログラムが求めるものと同程度の人材像を目指すとともに、将来静岡県の産業に関わる等静岡県の発展に貢献することを希望し、その貢献分野のイメージも持てるような人材を養成します。

■ふじのくに地域探究コース概要

静岡県の特性（ものづくり産業、農林水産業、観光産業、多文化共生など）やその課題についてよく学び、地域への愛着を持ち、将来、静岡県の発展のために活躍しようという志を育むとともに、自由な発想と創造力をもって課題解決や活性化、社会貢献につながる探究活動に取り組むことを目的とし、7つのコース区分を設定しました。また個人応募とともに2～4名でのチーム応募も可能としています。

コース名	内容	コース名	内容
①ものづくり・地域産業コース	自動車や医薬品・医療機器、新エネルギー、健康福祉、ロボット等のものづくり・地域産業において、静岡県のイノベーションに寄与する人材を育成	⑤静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース	上記以外のスポーツ、芸術、政治、行政、教育、ICT活用、メディア、ファッション、日本文化（郷土芸能、和食等）、医療、自然、栄養、言語、福祉等の様々な分野において、静岡県の特性を意識しながら実践的に学び考える人材を育成
②多文化共生・多様性コース	人種や国籍、性別、年齢、文化などの違いにかかわらず、多様な生き方や価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい地域社会づくりに寄与する人材を育成	⑥ものづくり×アジアコース【アジア特化型】	静岡県の産業と関わりの深い東アジア・東南アジア地域を訪問し、ものづくりについて実践的に学び考える人材を育成
③観光交流促進コース	アフターコロナを見据え、自らの地域を理解しながら観光交流の促進や観光ビジネスの発展に寄与する人材を育成	⑦観光交流×アジアコース【アジア特化型】	アジア地域からのインバウンド拡大を目指し、東アジア・東南アジアを訪問し、観光交流及び観光ビジネスについて実践的に学び考える人材を育成
④農林水産業みらいプロジェクトコース	農林水産業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進する人材を育成		

壮行会
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

報告会

■ 壮行会・事前オリエンテーション

実施日 6月28日
会場 静岡県庁21階展望ロビー他
参加者 派遣留学生 51名
運営協議会構成員・支援団体等



【壮行会】

派遣留学生代表として挨拶した太田さん（清水南高校）は、フランスで演劇を学び、世界と静岡を繋げる架け橋になりたいと、留学に向けた熱い思いや夢を語りました。その他、運営協議会代表を務める池上教育長、「トビタテ！留学JAPAN」プロジェクトディレクターの荒畦様、支援団体より（公財）静岡県国際交流協会の加山様、（独）国際協力機構中部センター静岡デスクの高尾様から御挨拶と応援メッセージをいただきました。



【交流会】

派遣留学生、運営協議会構成員、支援企業・団体の参加者がテーブルを囲み、昼食をとりながら交流しました。それぞれの留学について情報を交換したり、励ましの言葉をいただいたりすることを通して、交流を深めました。



【事前オリエンテーション】

留学に向けて探究活動の計画について考察や理解を深めることを目指し、グループワークを中心とした活動を行いました。1期生7名も補助員として活動をサポートしました。



活動を通して、エヴァンジェリストとしての意識を高め、自身の留学計画をブラッシュアップすることができました。

補助員の1期生が自身の留学について語り、質疑応答を通して留学に対するイメージをより深めると共にトビタテ！経験者にしかわからないアドバイスをもらうことができました。

壮行会
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

報告会

■ 留学事例①

【コース名】 ふじのくに地域探究コース③観光交流促進コース

【留 学 国】 シンガポール

【留学期間】 7月14日～8月1日

【テ ー マ】 静岡を世界に！観光大国日本を目指して～シンガポールから学ぶ～

観光大国シンガポールの政府観光局での政策インタビュー、業務見学をします。また、観光スポットにおける集客の工夫や、案内、広報の工夫を調査することで、シンガポールの観光業について多角的に捉えます。その上で静岡の観光業との違いを考察します。また、語学学校や現地で出会った人々と積極的にコミュニケーションを図り、日本、特に静岡の特産品や観光地等の魅力を伝え、世界とつながる人脈を作ります。どのようにすればより多くの人々に静岡の魅力を伝えることができるのか考えていきます。

■ 留学事例②

【コース名】 ふじのくに地域探究コース⑤静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース

【留 学 国】 フランス

【留学期間】 9月22日～10月14日

【テ ー マ】 言葉の壁を越えた表現力を獲得し、演劇を通してお互いの文化や価値観を共有し繋がる。

言葉の壁を越えた表現力を獲得し、演劇を通してお互いの文化や価値観を共有し繋がる為に、フランスへ3週間留学します。パリに1週間滞在し、語学力を高めながら、劇場で、観劇後の観客にインタビューを行います。その後、ルーアン市立コンセルヴァトワールで2週間演劇の授業を受けながら、コンセルヴァトワール生に演劇に対するインタビューを行います。パリやルーアンでは、アンバサダー活動として日本文化と静岡の魅力を紹介します。エヴァンジェリスト活動として、SNSで留学に関する発信を行い、帰国後、両国の文化を合わせた作品を上演します。

壮行会
事前オリエンテーション

海外留学

事後オリエンテーション

報告会

■事後オリエンテーション・報告会（同一日に実施）

実施日 12月14日
会場 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ
参加者 派遣留学生 51名
一般来場者・運営協議会構成員・支援団体等

それぞれの留学や海外での探究活動について、ポスターセッションを行いました。
ポスターセッション中は、成果報告会として留学に興味のある中高生やその保護者、所属校の教職員等多くの方に参加していただきました。発表後の質疑応答でコメントをもらうことで、多くの気づきを得ることができたようでした。ポスターセッション後に行った振り返りでは、ワークシートを用いて自らの留学体験について伝え合うペア活動を行いました。これまで接点のなかったメンバーとも積極的にペアを作り、インタビューし合うことで多様な考えに触れることができました。
留学体験を含むこれまでの歩みを振り返り、それを言語化することで、留学の価値や今後取り組むべきことを再確認することができました。



茶の未来をインドネシアから突破する ～インドネシアとイスラームに日本茶を届ける～

静岡サレジオ高等学校（3年）渡邊さん
インドネシア（25日間）

静岡茶の魅力を伝えるためにインドネシアに行ってきました。
カフェの試飲会や大学のお茶講演会での失敗・成功体験から、
自身の足りない能力を知り、より学びたい・成長したいと
思えるきっかけを与えてくれました。



海で生きる夢の実現に向けて ～海洋環境と食生活が急変する国の課題にヒントが～

静岡県立焼津水産高等学校 石原さん、林さん、大石さん
ミクロネシア（16日間）

南の国の海は、海中を漂うプラスチックごみや、
白化したサンゴ礁が多くあり、実際にこの目で見ると
海洋問題は予想以上に大きいと実感しました。
この留学で漁獲量の増減と生態系のバランスを保つことの
大切さを学びました。



■ 支援企業

- ・ 静岡にこんなに熱意を持って留学を志している生徒がいて驚いた。
- ・ 「海外で働きたい」という人材を求めている。支援することで企業のことを知ってもらえるのはありがたい。
- ・ 色々な経験の必要性を感じる。海外に出た生徒には静岡に帰ってきてほしい。この先どのようなことになるかぜひ追ってもらいたい。
- ・ 素晴らしい事業なので今後も是非協力したい。一方で説明を聞いて初めて本事業を知ったので、もっと積極的な事業周知をしても良いと思う。

■ 高等学校等関係者

- ・ 渡航前は不安な表情もあったが、現地での経験や多様な価値観との出会いがあったことで自信に満ち溢れた表情で帰国した。大きく成長した姿での留学報告は多くの生徒の背中を押してくれた。
- ・ 事前研修や留学生同士の交流があることで良い刺激をもらい、自身の探究留学への覚悟や挑戦することを楽しむ姿が表れていたのが印象的だった。
- ・ 帰国後も探究活動を継続し課題解決に向け仲間を募って地域貢献に奮闘する等、「自分で課題を見つけ、解決し、行動する力」を身につけられたことが最大の成果であると感じている。
- ・ この事業が生徒の探究心を駆動していると実感すると同時に、その成長した姿を間近で見ることができ、担当教員として大きな喜びであった。
- ・ この事業を機に地域課題に目を向け、その解決のために行動していくことで自走する力を身に付ける高校生がもっと増えるよう、事業の継続を期待している。



留学報告の様子



小学生対象の海外文化体験
イベントを主催

■地域全体の留学機運醸成の進捗

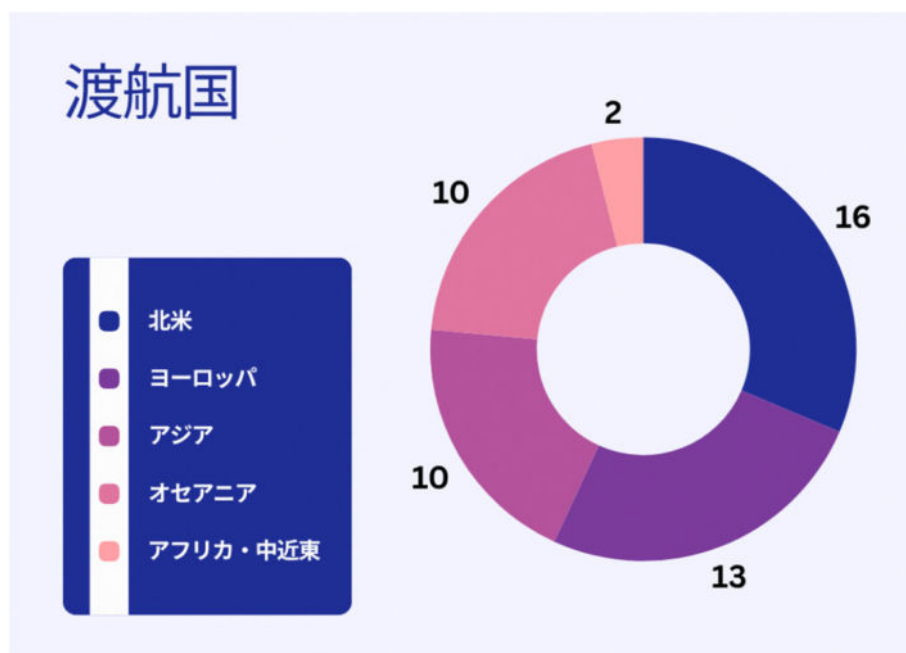
本事業を契機として高校生等の留学意欲の向上を図り、県全体の留学者数をコロナ禍前の水準に回復させ、留学者数・海外交流者数の更なる拡大を目指す。

項目	基準値 R元	R4	R5	R6
留学者数※	103	10	68	75
支援企業数 累計	28	35	40	48

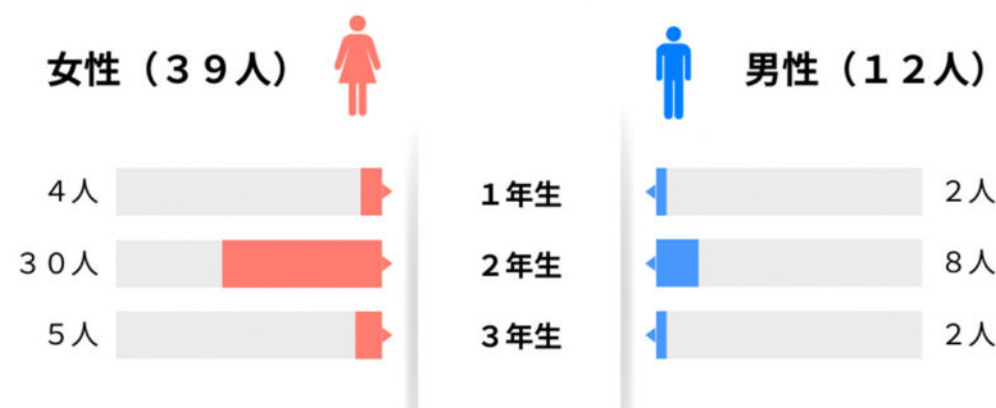
※基金を活用して留学した生徒

コース名	R6応募	R7応募
マイ好奇心探究(マイ探究)コース	15	13
社会課題探究(社会探究)コース	3	8
STEAM探究コース	-	1
スポーツ・芸術探究コース	3	10
ふじのくに地域探究コース	64	78
総計	85	110

■派遣留学生のデータ



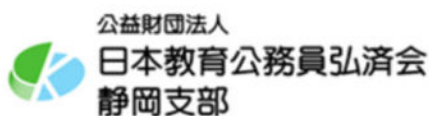
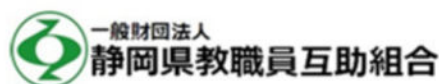
派遣留学生の属性



留学期間

14日～82日 (平均21.5日)

支援企業一覧 (2026年3月31日現在)



一般社団法人 彩
株式会社ウェブブランディング
株式会社経営サポートプラスアルファ

株式会社DYM
株式会社名古屋銀行
ネットワンシステムズ株式会社

医療法人社団MYメディカル
学校関係団体(同窓会、後援会等)
ふじのくに応援寄附者(個人支援者)

静岡県高等学校長協会
静岡県高等学校等副校長・教頭会
静岡県公立高等学校事務職員協会